

七小校長室便り

開校51年目

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.3 令和5年(2023年)7月3日

6月より、会計年度職員が2名増えました。

6月1日(木)から、会計年度職員として2名の方が本校のチームに加わりました。くるみ学級の指導員と、スマイリースタッフ2種(介助員・金曜日のみ出勤)のお二人です。

ご紹介が遅くなってしまい、失礼いたしました。益々、教職員の多い学校となりますが、各人の力を合わせて「チーム七小」をパワーアップさせていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



日光移動教室を無事に終えました。



6月14日(水)～16日(金)の2泊3日、最高学年である6年生が、日光移動教室に行っていました。コロナ禍の制限が緩和され、これまでできなかった活動が行えるようになりました。ゆったりとした気持ちの中で移動教室が行えることは、子供たちにも、引率をする教員にも、安心して取り組める状況となり、程よい緊張感の下で実施することができました。

今年度は、教員の引率の人数を例年より多くし、できる限り子供たちの安心感を高めるようにも配慮しました。

お陰様で、多くの思い出や体験をすることができました。雨の影響もありましたが、子供たちの多くは、6年生の仲間という空間や時間を大切に、楽しく盛り上がることや相手のことを思いやること等、七小の最高学年の姿や顔をたくさん見せてくれました。

今回の移動教室で培った絆や仲間意識をこれからの学校生活や最高学年としての活動に活かしてほしいと願っています。6年生の保護者の皆様には、すぐーるでの配信をご覧いただき、ありがとうございました。少しでも子供たちの様子が伝わっていれば、嬉しいところです。

学校評議員会を開催しました。

6月24日(土)の今年度2回目の学校公開日の午後、学校評議員会を開催いたしました。学校便りに、今年度の学校評議員の皆様をご紹介しておりますので、今回の校長室便りでは、内容についてお知らせいたします。

学校評議員会では、副校長の司会進行の下に、各自で自己紹介を行い、評議員の皆様には、校長の私から委嘱状をお渡しいたしました。その後、私と各担当の教員から今年度における学校経営に関わる内容をお伝えしました。

経営主任の指導教諭からは、学校経営計画という本校が目指す年間の目標について、伝えていただきました。3つの教育目標「かしこく・やさしく・げんきよく」のそれぞれに、年間の経営目標を立て、具体的な取組の方法や評価の目安及び時期など、説明させていただきました。

教務主任の主幹教諭からは、現在の学校状況やこれからの学校行事の取組について、話してもらいました。今の子供たちの教育活動の様子や一学期から二学期にかけての行事予定等についてお伝えしました。

生活指導主任の主幹教諭からは、経営計画にある生活指導に関わる内容や取組の方法・評価について、丁寧にお伝えいたしました。今年度は、特別活動における目標も加え、子供の主体的な取組についても高めていくことをお話ししました。

最後に、研究主任である主任教諭より、今年度末の2月に実施予定の研究発表会を視野に、心の教育の要である道徳の授業研究を基にした校内研究について話をいただきました。道徳の授業を高めていくことで、「やさしく」の言葉に隠されている真のやさしさを追求していくことを大切にし、授業改善を図りながら、子供たちのたくましい心の在り様を考えてまいります。

以上のような説明の後、学校評議員会の委員長に司会進行をお願いし、各委員の皆様からは、たくさんのお話をいただくことができました。

以下に主な内容をお知らせいたします。

- 子供の居場所が複数あることにより、子供の生きづらさの解消につながる。
- 昔は、どこでも遊べる環境であったが、社会環境の変化に伴い、子供の居場所が必要になっていることが分かった。ただ、そのことにより、教員の負担が増えることも心配である。
- 親同士の直接的なネットワークは大切である。また、親子の信頼関係も大切にしてほしい。
- 見守りをしていると、週の初めには「1週間、よろしく申し上げます。」と挨拶があり、週の終わりには、「1週間、ありがとうございました。」と挨拶がある。見守り会として、嬉しいし、やっていたよかったと感じる。
- 学校公開でふろしきを提示した道徳の授業があった。ふろしきの使い方についての質問では、子供たちの発想がとても面白かった。
- 5月・6月の学校公開では、保護者の方々のマナーがとても良かった。静かに集中して参観されていた。
- 登校時に、いつも登校している子供がなかなか来ないことがあり、話を確認すると、自動車で保護者に送ってもらっていた。見守り会として、子供が登校してこないことは不安になるので、知らせていただけると有難い。

地域の代表でもある評議員の皆様からいただいたご意見やご感想は、学校にとって、とても貴重であり、有難いことでもあります。これからも地域や保護者の皆様とよりよい関係の下に学校経営ができるよう、学校評議員の皆様にもご協力いただきながら、国立七小としての存在の意味を皆様と共有してまいりたいと思います。

開校50周年の余韻

昨年度の開校50周年記念式典や児童集会の折に、メッセージをいただいた、第11代歌のお兄さんである横山 だいすけさんから、サイン色紙をいただきました。6年生の代表の子供たちが、だいすけお兄さんに感謝のメッセージ動画を送ったところ、サイン色紙を送っていただきました。

開校50周年のマスコットのななきち・ななしばも、ようやく事務室前で来校される皆様をお迎えできるようになりました。開校50年から60年に向けた七小の変遷を見守り続けてほしいと思います。

2階職員玄関の事務室受付のところにありますので、学校に来られた時にでも、ご覧ください。



【校長のつぶやき】

今年の6月は、この七小に来てから初めてと言っていい程、時間がいくらあっても足りない、充実の毎日となりました。毎年、教職員が増える中で、先生方の授業を観察し面接を行ったり、多くの保護者の方とじっくりと懇談させていただいたり、他にも取り組みたいことを抱えながら、分刻みの動静となりました。この校長室便りも、早く出したい思いをもちながらも、なかなか作成ができず、配布するのが7月となってしまいました。世間では、教員の働き方改革が大きく取り上げられ、私たちに直結する話ではありますが、日々の教育活動や学校行事、PTAや保護者の皆様、地域の皆様との連携（面談や懇談等）や交流などに取り組む中では、残念ではありますが、少し遠いお話のような感覚があります。

教員と呼ばれるとてもやり甲斐のある仕事のことを、人間教育という現場を、多くの方にもっと知ってもらいたいと思うと同時に、私たちが働くことを楽しみながら、携わることができる現場となるようにしていくのも私としては、大切にしていかなければと思っています。

多くの方に支えられている七小であるからこそ、学校と地域の皆様・保護者の皆様と、よりよい七小のイメージを共有しながら、子供たちの笑顔や笑い声が溢れる学校づくりを進めていきたいと改めて実感した6月でした。

